

検 査 課

検査課業務概要

当検査課では、「千葉県検査業務運営要領」に基づく検査業務を実施している。平成 21 年度に見直された検査体制では検査の効率化及び高度化が図られ、7 保健所検査課にてノロウイルス検査（スクリーニング）が導入された。当検査課でのノロウイルス検査は平成 21 年度から開始した。

平成 21 年度に実施した業務は、臨床・細菌検査業務、食品衛生検査業務、精度管理業務である。

1. 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策としてH I V抗体検査 50 件、性病予防対策としてクラミジア抗体検査 42 件及び梅毒検査 42 件、肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査 62 件及びB型肝炎ウイルス抗原検査 62 件を実施した。寄生虫卵検査として、ぎょう虫卵検査 1 件を実施した。

また、原子爆弾被爆者健診に係る検査として尿検査 31 件を実施した。

(2) 細菌検査

ア 平常時検査

平常時の感染症対策として給食施設従事者、食品取扱業者、水道施設従事者に対する腸管出血性大腸菌O157検査を 3,994 件実施した。

また、赤痢、腸チフス・パラチフスA菌検査では、4,109 件を実施した。

イ 感染症発生等に伴う検査

感染症発生時の患者、家族、接触者等の菌検索では、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O157、腸管出血性大腸菌O26、腸管出血性大腸菌O121 について計 35 件を実施した。

2. 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

食品細菌検査では、食品機動監視班が監視指導を推進するために管内施設等から収去した食品等について、261 検体 1,108 項目を実施した。

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

健康危機事案である食中毒及び苦情食品等の検査では、64 検体 1,076 項目を実施し、黄色ブドウ球菌、ノロウイルスを検出した。

(3) 乳類規格試験

食品機動監視班が収去した市販の牛乳や発酵乳等について、乳類規格試験を 4 検体 15 項目実施した。

3. 精度管理事業

検査結果の信頼性を確保するため、検査の都度行う内部精度管理及び外部機関が行う外部精度管理を実施した。内部精度管理では、添加回収試験、陽性対照試験、繰り返し試験を実施した。外部精度管理では、食品安全分析センター、千葉県衛生研究所からの送付試料について各試験を実施した。

1. 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表1－(1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
血液	梅毒	TP法	38	63	42
		STS法	38	63	42
	HIV抗体		52	74	50
	クラミジア抗体		-	63	42
	HCV抗体		133	76	62
	HBs抗原		52	76	62
尿	糖		45	42	31
	蛋白質		45	42	31
	ウロビリノーゲン		45	42	31
	潜血		45	42	31
喀痰	結核菌	塗抹鏡検	-	-	-
		培養	-	-	-
便	寄生虫	塗抹鏡検	-	-	-
		ぎょう虫卵	2	1	1

(2) 細菌検査

表1－(2)－ア 平常時対策の腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成19年度		8,549	8,047	289	96	117
平成20年度		8,005	7,506	234	184	81
平成21年度		8,103	7,616	164	161	162
内訳	赤痢菌, 腸チフス・パラチフスA菌	4,109	3,879	104	91	35
	腸管出血性大腸菌O157	3,994	3,737	60	70	127
	その他	-	-	-	-	-
菌 検 出 状 況	赤痢菌	-	-	-	-	-
	腸チフス菌	-	-	-	-	-
	パラチフスA菌	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌O157	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-

表1 - (2) -イ 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	計	便			飲料水	食品等	その他
		患者	接・触者族	その他			
平成19年度	85	44	19	11	-	1	10
平成20年度	52	13	29	-	-	1	9
平成21年度	35	11	24	-	-	-	-
項目内訳	赤痢菌	17	2	15	-	-	-
	腸チフス菌	-	-	-	-	-	-
	パラチフスA菌	-	-	-	-	-	-
	コレラ菌	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌O157	4	1	3	-	-	-
	腸管出血性大腸菌O26	5	3	2	-	-	-
	腸管出血性大腸菌O121	9	5	4	-	-	-
	その他の菌	-	-	-	-	-	-
菌検出状況	腸管出血性大腸菌O26	1	1	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌O121	3	2	1	-	-	-

*平成21年度から検査開始につき、平成19年度、20年度の実施件数は無し

2. 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表2 - (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
検 体 数	275	172	261	
項 目 数	1,350	971	1,097	
項目内訳	細菌数(生菌数)	263	195	226
	大腸菌群の有無	247	168	217
	E. coliの有無	81	69	74
	黄色ブドウ球菌	218	151	211
	サルモネラ属菌	132	81	136
	腸炎ビブリオ	60	56	48
	腸炎ビブリオ最確数	10	5	10
	セレウス菌	121	66	-
	ウエルシュ菌	36	53	-
	カンピロバクター	86	60	70
	腸管出血性大腸菌O157	96	60	85
	腸管出血性大腸菌O26	-	7	20

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表2-(2) 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他
平成19年度	検 体 数	3	-	3	-	-	-
	項 目 数	45	-	45	-	-	-
平成20年度	検 体 数	236	51	105	5	75	-
	項 目 数	3,993	836	1,853	90	1,214	-
平成21年度	検 体 数	64	7	41	-	16	-
	項 目 数	1,076	126	662	-	288	-
項 目 内 訳	コレラ菌	64	7	41	-	16	-
	赤痢菌	64	7	41	-	16	-
	腸チフス・パラチフスA菌	64	7	41	-	16	-
	腸炎ビブリオ	58	7	35	-	16	-
	NAGビブリオ	58	7	35	-	16	-
	V. ミミクス	58	7	35	-	16	-
	V. フルビアリス	58	7	35	-	16	-
	黄色ブドウ球菌	58	7	35	-	16	-
	サルモネラ属菌	58	7	35	-	16	-
	セレウス菌	58	7	35	-	16	-
	ウエルシュ菌	58	7	35	-	16	-
	カンピロバクター	58	7	35	-	16	-
	エルシニア	58	7	35	-	16	-
	エロモナス	58	7	35	-	16	-
	P. シゲロイデス	58	7	35	-	16	-
	病原性大腸菌	58	7	35	-	16	-
	腸管出血性大腸菌O157	58	7	35	-	16	-
	腸管出血性大腸菌O26	58	7	35	-	16	-
	ノロウイルス	14	-	14	-	-	-
	大腸菌群	-	-	-	-	-	-
細菌数(生菌数)	-	-	-	-	-	-	
検 出 菌 等 内 訳	黄色ブドウ球菌	4	-	4	-	-	-
	ノロウイルス	12	-	12	-	-	-

(3) 乳類規格試験

表 2 - (3) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成21年度
検 体 数		4
項 目 数		11
項 目 内 訳	細菌数(生菌数)	1
	大腸菌群	4
	乳酸菌数	2
	低温細菌数	-
	比重	1
	酸度	1
	無脂乳固形分	1
	乳脂肪分	1
	その他	-

*平成21年度から検査開始につき、平成19年度、20年度の実施件数は無し

3. 精度管理業務

(1) 内部精度管理

表 3 - (1) 内部精度管理実施状況

項 目	実施回数
添加回収試験	一般細菌数 52
陽性対照試験	腸管出血性大腸菌O157 9
	腸管出血性大腸菌O26 2
	黄色ブドウ球菌 21
	サルモネラ属菌 15
	セレウス菌 -
	E. coli 28
	腸炎ビブリオ 6
繰り返し試験	一般細菌数 2
合 計	135

(2) 外部精度管理実施状況

表 3 - (2) 外部精度管理実施状況

外 部 精 度 管 理 調 査 機 関	調査項目
財団法人 食品薬品安全センター	一般細菌数
	黄色ブドウ球菌
	大腸菌
	サルモネラ属菌
千葉県衛生研究所	腸管出血性大腸菌の検査